

事業所名

にじいろキッズらいふ若里東(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

7年

3月

27日

法人(事業所)理念		利用者の人としての尊厳を大切に、地域社会でゆとりと潤いのある、その人らしく、いきいきと自立した日常生活が送れるよう、利用者様本位のニーズに合った福祉サービスの提供に努める。					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携を図りながら早期発見・早期支援に努めます。 将来に自分の強みを活かし自分らしい生活が送れるよう支援します。 インクルーシブな社会を目指し保育所等への移行支援を行います。 PDCAサイクルを大切にオーダーメイドの個別支援計画を作成し発達支援を行います。 複数の事業を展開する法人の強みを活かし連携しながら個々の特性に合わせた支援を行います。 子育て支援のために保護者向けの事業を展開し家族支援を行います。 					
営業時間		8時	30分	15時	0分	送迎実施の有無	なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	着脱、排泄等の基本的な生活習慣が身についていくように、一人一人の成長のスピードに合わせて、ご家族と一緒に進めていきます。取り組みの際は、お子さまが集中しやすく、ここでは何をやるのかを分かりやすくする環境作りも併せて行います。また、医療ケアが必要なお子さまには、適切なケアができるように環境を整えていきます。月1のお弁当の日を設け、食の形態や咀嚼・嚥下の様子をご家族と一緒に共有し、専門職と連携しながらお子さまにあった食事の進め方を支援します。					
	運動・感覚	専門職と連携をしながら、全身の発達から細やかな手先の育ちまでの発達が促進されるよう、運動や遊び、制作等の活動を企画し、お子さまが楽しみながら活動に参加できるようにします。お子さまに合わせた補助具等の使用や、感覚特性に配慮をしたり、お子さまの発達段階や強みを大切にしながら、『出来た』を積み重ねるようにします。					
	認知・行動	様々な活動や豊かな体験を提供することにより、感覚への働きかけ、概念的な理解の形成をし、認知の発達に促していきます。また、ルーティン化された日課により、次を見通して自分から行動する力を育てていきます。分かることが増える中で、わからない・苦手・イヤの気持ちを受け止め、それを上手に周囲に伝えることで、自分の気持ちをコントロールしながら行動することを覚えていけるようにします。					
	言語コミュニケーション	お子さまの興味関心に寄り添いながら、お子さまの思いや行動に言葉を添える中で、言葉の理解を深めます。楽しいふれあい遊びの中で、お子さまの「楽しい!」「もっとやって!」の期待感を引き出し、相手に「おねがい」「もう1回」を伝えたい気持ちを育み、仕草、ジェスチャー等お子さまが伝えやすい手段の獲得を目指します。					
	人間関係社会性	お家の方と一緒にという安心した環境の中で、大人やお友達の真似をしたり、一緒に楽しく参加する中で集団での活動に慣れていきます。集団での活動を通し、お友達と遊ぶこと活動することで、お友達が一緒にだと楽しいという気持ちと遊びを広げます。毎日の繰り返しの活動の中で、楽しみながら順番を待つことや決まった合図で活動をおしまいにする経験を積みながら、集団でのルールを知っていく。					
家族支援		子どもの人生の基礎となる時期における子育てについて、ご家族との対話を大切にしながら、トータルに支援します。			移行支援		地域の同世代の子どもの育ち合いを大切に、交流の機会を設けたり幼稚園保育園への繋ぎの支援も行います。
地域支援・地域連携		お子さまが関係する機関(行政、保健センター、医療機関等)と連携を図りながら、支援が途切れることがないようにしていきます。			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 感覚統合理論、ABA応用行動分析、構造化、特性理解等の専門研修を行います。 虐待防止、身体拘束等適正化、感染症対策、BCP等の研修を行います。
主な行事等		個別面談、音楽療法、季節行事、お弁当の日					